

2004年10月15日

明治安田生命 ヘルスケア事業へ進出 日本初の本格的な「疾病予防サービス」を事業化

明治安田生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）では、2004年1月の新会社発足後最初の新規事業として、生命保険関連事業領域における新たな社会インフラの提供を通じた社会貢献および生命保険マーケティングにおける独自性発揮を目的とし、診療補助と生活介入サービスを旨とするヘルスケア事業に進出することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

高齢化の急速な伸展や生活習慣を起因とした疾患群の増加等により、わが国の疾病構造は大きく変容し、国民医療費は増加傾向が続いております。同事業は、生活習慣病・慢性疾患などの予備軍に対し、個々人に応じた改善目標・計画を設定するほか、疾病についての教育と生活習慣改善への働きかけを行なうことで、疾病を予防するものです。

日本初の本格的な「疾病予防サービス」の事業化

①企業（団体）・健康保険組合、②開業医・産業医・基幹病院等の医療機関、③新たに設立予定のヘルスケア事業会社がネットワークを構成し、それぞれの役割と機能を担う、日本初かつ日本固有の本格的な「疾病予防サービス」を開発し、新たな社会インフラとして広くサービスを提供します。

産学連携による質の高いサービスプログラムの提供と公開の原則

「疾病予防サービス」の開発にあたっては、医療・健康に関する質の高いトータルなリスクソリューションを提供すべく、学識者に指導・助言を仰ぎます。その際、社会性・公共性の高い成果物は公開し、広く社会と共用します。

今秋パイロット運用開始。2005年度早期に「ヘルスケア事業会社」を設立。2007年度より本格事業展開

今秋を目処に、志を同じくするパートナー企業（団体）・健康保険組合と「ヘルスケア事業 共同研究会」を立ち上げ、糖尿病に関する「疾病予防サービス」の「パイロット運用」を開始いたします。2005年度早期には「ヘルスケア事業会社」（参画会社は未定）を設立しパイロット運用の順次拡大と共同研究会の充実発展を図りつつ、2007年度からの「疾病予防サービス」本格的展開に備えます。

開発する「疾病予防サービス」事業の概要

1. 疾病予防サービス

「疾病予防サービス」は、米国において誕生・発展しました。明治安田生命では、わが国の生活・医療環境に適合した日本初・日本固有の「疾病予防サービス」として開発する予定です。

具体的には、企業（団体）・健康保険組合と連携しつつ、医師（開業医・産業医）、重篤患者の後方支援にあたる基幹病院、生活習慣変容をサポートする保健師・看護師等によるコールセンター（新たに設立するヘルスケア事業会社が所管）がネットワークを形成し、生活習慣病・慢性疾患予備軍の発症防止に向けた生活介入プログラムと、医師の管理の下での罹患者の重篤化防止により、ヘルスケアに関するトータルなリスクソリューションを提供してまいります。

⇒サービス概要は、別紙資料をご参照ください。

2. 産学連携と公開の原則

「疾病予防サービス」の開発にあたっては、医療・健康に関する質の高いトータルなリスクソリューションを提供すべく、田中滋 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授、松岡健平 慶應義塾大学医学部客員教授・東京都済生会渋谷診療所所長を始めとする学識者に指導・助言をお願いしています。今後、関係方面に働きかけを行ない、オーソライズを求めていく予定です。

指導・助言の成果物（例えば、糖尿病の疾病予防サービスに関わる医的ガイドライン）については、その社会性・公共性に鑑みて、新たに設立する「ヘルスケア事業会社」で独占することなく、広く社会に公開してまいります。

3. ヘルスケア事業 共同研究会

今秋スタートする「ヘルスケア事業 共同研究会」には、医療・健康分野で優れた経験と実績を持つ企業（団体）・健康保険組合が参画いたします。

同研究会では、サービスの開発と事業化に向けた具体的な研究・検証を行ない、その成果を広く社会に還元してまいります。

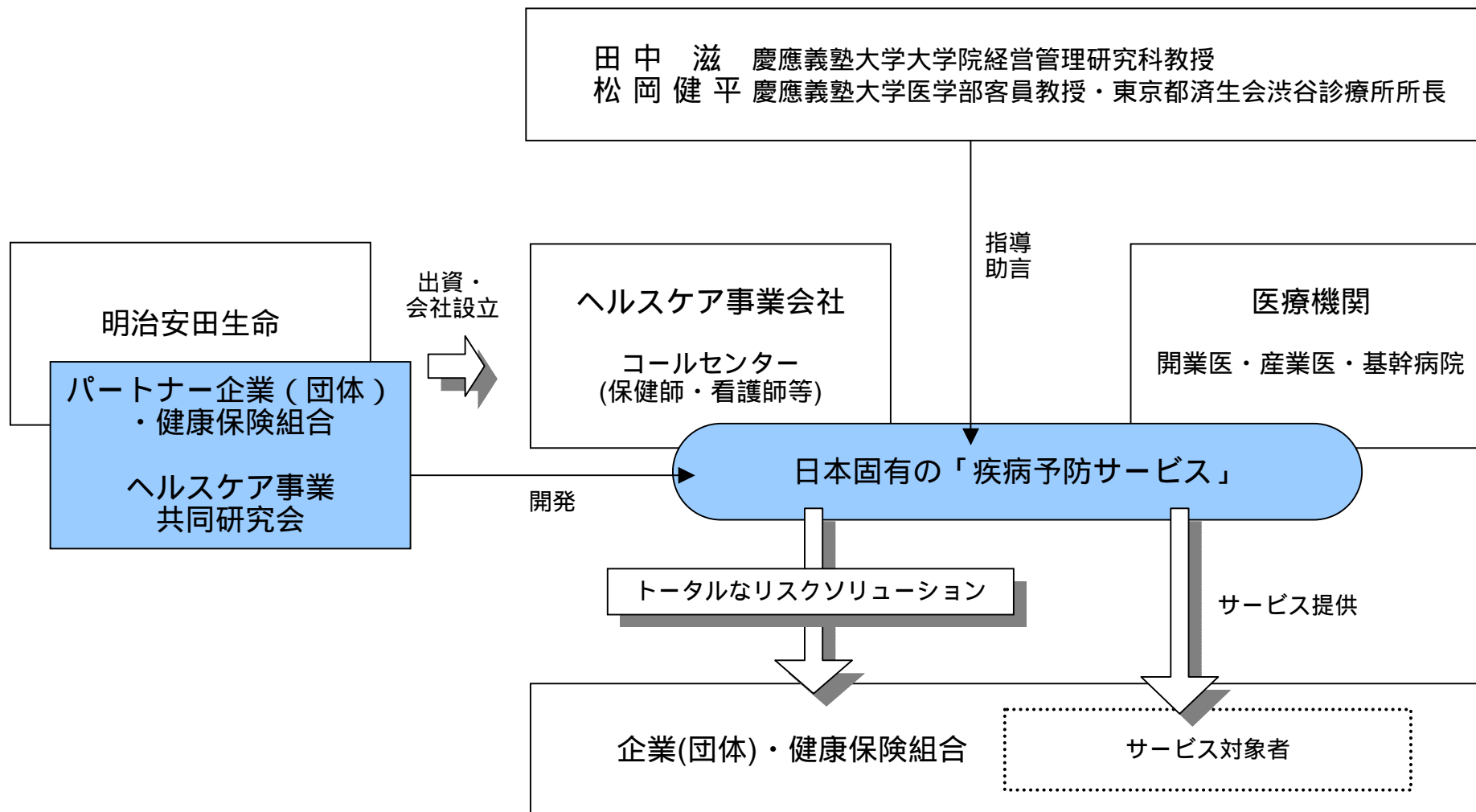
現在までのところ、同研究会に参画する企業（団体）・健康保険組合には、当社をはじめ、日本アイ・ビー・エム株式会社、松下電器産業株式会社等の5団体程度が固まっています。

同研究会の運営にあたっては、この分野で優れた実績を持つ株式会社三菱総合研究所が全面的に協力します。「パイロット運営」に際しては、コールセンターによる健康関連サービスで経験の深い安全センター株式会社が参加し、そのノウハウを提供します。

4. 対象疾患の拡大

サービスの対象とする疾患は、その予備軍と患者数の増加が顕著な「糖尿病」を先行させ、サービスの導入効果が大きいとされ、市場ニーズも高い重大疾患に順次拡大いたします。

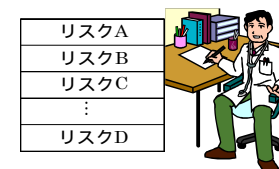
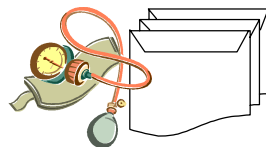
事業イメージ俯瞰



「疾病予防サービス」とは…

糖尿病を始めとした生活習慣病・慢性疾患などの予備軍・患者に対し、
 個々人のリスクに応じた改善目標・計画の設定と疾病教育・生活習慣介入(働きかけ)を行ない、
 疾患の発病・重篤化抑制と病状の改善を目的としたサービス

1 対象集団所属員の健康診断・診察結果等に基づき、疾病リスクを分類・階層化



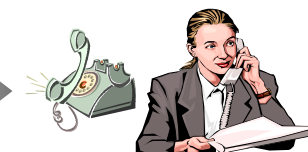
2 対象者へのアセスメントを交えて、納得感のある改善目標・計画を設定



3 対象者の疾病予防・克服意識の醸成を基本スタンスとした、疾病知識・教育の実施



4 対象者の自助努力意識の向上を基本スタンスとした、生活習慣改善の介入(働きかけ)



5 改善効果の測定と評価、報告

